

【HyLabs】マルチセッション自学自習用のゴールドマスタにて、VM数を減らすには？

2026/09/17 19:04:59

[記事印刷](#)

区分:	ACCOPS FAQ::04. よくある質問	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/09/16 - 16:41:52

キーワード

Azure, AVD

症状 (公開)

マルチセッション自学自習用に登録されたマルチセッションゴールドマスタに対して、「AVD設定」の最大VM数を減らしても、既にデプロイされている仮想マシンが削除されない。
※マルチセッション自学自習は、Azure AVDにて利用可能な機能となります。

問題 (公開)

解決 (公開)

マルチセッション自学自習用に登録されたゴールドマスタは、初回の自学自習デプロイ時に「AVD設定」で設定した「最大VM数」の仮想マシンがデプロイされます。仮想マシンのデプロイ後、「最大VM数」を減らすだけではデプロイ済みの仮想マシンは削除されない仕様となります。そのため、最大VM数を減らす場合は、合わせて以下の手順も行ってください。

1. HyLabs管理画面 - [ゴールドマスタ] - [AVD設定]画面で、最大VM数を減らします。
 2. HyWorks管理コンソールにアクセスして、該当するプールを探します。
- ※HyWorks管理コンソール側のプール画面では、HyLabs側で設定した表示名にて確認できます。

HyLabs管理画面

HyWorks管理コンソール

3. プール名をクリックしてデスクトップ画面を表示し、削除するVMにチェックをつけて「プールから削除」を実行します。
その際、対象のデスクトップにはユーザが割り当てられておらず、未使用状態であることを確認してください。
4. HyLabs管理画面 - [予約済みVM]画面、HyWorks管理コンソール - [VDI] - [デスクトップ]画面、Azureの管理画面にて対象の仮想マシンが削除されたことを確認します。

Related Product, Service (公開)